



高 第49回葛巻高校卒業式

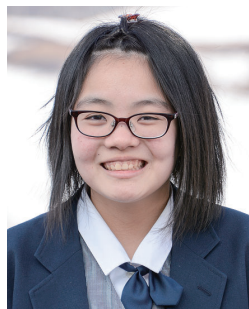
Interview

山村留学制度第2期生として葛巻高校を卒業した2人に3年間の思い出を聞きました



長津 裕哉さん
北海道出身

人見知りをする性格でしたが、高校や寮生活をする中でコミュニケーションを学び、誰とでも話せるようになりました。秋まつりに参加したことで、葛巻の人たちの良さをより感じる事ができたと思います。これまで温かく見守ってくださり、ありがとうございました。



佐藤 ゆきなさん
神奈川県出身

夏に友達と川で遊んだことが思い出です。寮での生活を体験したことで、洗濯や片付けなど進んでできるようになりました。町民の皆さんが、明るくあいさつをしてくれたり、知り合いのように接してくれたことがとても心強かったです。ありがとうございました。

葛巻高校(上柿剛校長、生徒130人)の第49回卒業式は3月1日、同校体育館で行われ40人(山村留学生2人含む)に上柿校長から卒業証書が手渡されました。上柿校長は「人とのつながりを大切に、堂々と前を向いて挑戦し続けていってください」と卒業生たちにはなむけの言葉を贈りました。続いて鈴木重男町長が「どんな難題にも必ず解決の糸口があることを信じ、あきらめず、歩みを止めず、果敢に挑戦しながら夢をかなえる人生を送ってください」と祝辞を述べました。

希望を胸に 40人が新たな道へ

在校生を代表して元村弥佑さん(2年)が送辞を贈り、卒業生を代表して石角南花さんが「私たちはそれぞれの新たな道へ進み、夢を実現するための努力をしていきます。未来への希望と大きな夢を持ち、力強く歩んでいきます」と答辞を述べました。卒業生たちは、これまで支えてくれた保護者や教員への感謝の気持ちを胸に、学び舎を後にしました。



①校旗返納の様子。代表児童の芳田悠華さん(5年生)から校旗を預かり吉田教育長へ返納する中村校長



②念式典
平成31年3月21日吉ヶ沢小体育館



吉ヶ沢小学校(中村卓志校長、児童6人)の閉校記念式典は3月21日、同校体育館で行われ在校生と教職員のほか卒業生、地域の人たちなど約180人が出席しました。鈴木重男町長は「保護者や地域の皆さんが子どもたちにより良い環境をと熟慮した結果、その歴史の幕を閉じる事になりました。小屋瀬小学校では、多くの仲間と切磋琢磨し、新たな校風と歴史を築いてください」と式辞。続いて吉田信一教育長が「さまざまな体験活動を通してこれまでの貴重な体験は、子どもたち自身の大きな成長につながったものと思います」と告辞しました。また、中村校

長は「吉ヶ沢の子どもたちをこれからも支え、見守り、励ましていただくようお願いいたします」とあいさつしました。その後、全校児童6人が総合学習を通じて学んだ140年の歴史と地域の人たちへの感謝の気持ちを発表。涙をこらえ最後まで堂々と発表したその姿に、会場は感動の渦に包まれました。校旗返納では、卒業生と代表児童が校旗を外し、芳田悠華さんが児童を代表して校旗を中村校長へ手渡した後、吉田教育長へ返還されました。最後に出席者全員で校歌を斉唱。子どもたちの未来に願いを込め、140年の歴史に幕を下ろしました。



140年の歴史に幕 吉ヶ沢小学校閉校

4月から小屋瀬小学校に統合された吉ヶ沢小学校。その閉校記念式典は3月21日、同校体育館で多くの卒業生や地域の皆さんら出席し、行われました。「大空 高く 羽ばたかん」校歌の一節にあるように、6人の子どもたちは新たな校舎で、地域の思いを胸に夢に向かって歩き出します。